

ポリテクカレッジ神戸港

港湾職業能力開発短期大学校神戸校 富田 祐一

1. はじめに

港湾職業能力開発短期大学校は、港湾・物流業界の新しい時代を担う高度な知識と技能・技術を兼ね備えた「実践技術者（テクニシャン・エンジニア）」の育成を目的として設立された能力開発施設で、神戸市と横浜市に校舎を設置しています。

ポリテクカレッジ神戸港（港湾職業能力開発短期大学校神戸校）は、兵庫県、神戸市および地元港湾・物流業界からの要請を背景に1998年（平成10年）4月に開校してから、今年度で13年目を迎えます。

同種の港湾短期大学校としては横浜校に次いで設立され、関西を中心に主に西日本地域から学生を受け入れております。

本校は、国際都市・神戸市の中心地である三宮からも近い人工島「ポートアイランド」の一角に位置し、校舎の外に目をやると、埠頭のクレーンやコンテナ船が望め、物流拠点の中心地にいることが、日



ポリテクカレッジ神戸港全景

常的に実感できる教育環境となっております。港湾・物流関係者の間では「港湾カレッジ」、地名を付けて「神戸港湾カレッジ」という愛称で呼ばれることもあります。

2. ポリテクカレッジ神戸港の特色

(1) 実践的な教育訓練システム

本校では現場ですぐに活用できるよう、最新の機器を活用した実習や実験を多く取り入れ、最先端の物流システムを学ぶことができます。また、経験豊富な指導員が直接指導することにより、確実な知識と技術を身につけることができます。

(2) 少人数教育で、高い教育効果

本校では、1学科20～30名の少人数教育を行い、学生と指導員がひざを交えたマン・ツー・マン教育



校舎から望むコンテナ船と巨大なガントリークレーン

を行っています。学生1人ひとりが、実習・実験機器を実際に操作し体験できるシステムになっており、知識と技術を身につけることができます。

(3) 将来の実務に役立つ学習

本校では港湾・物流業界のみならず、最近ではさまざまな業界で求められるコンピュータネットワークやデータベースなどの情報処理に関する学習をはじめ、フォークリフト運転技能の習得など、主に港湾・物流業界へ就職する際に必要な知識・技術を学ぶことができるほか、クレーン運転士、大型特殊自動車



日本で唯一のコンテナクレーンシミュレータ



シート下のモニターには
運転席の窓から見える映像が映し出され、
波や風による運転席の揺れを再現することが可能

などの免許取得に向けた実習も行っており、港湾・物流業界へ就職するときに必要となる専門的な知識や技能を身につけることができます。

(4) 行き届いた就職指導

就職指導では、情報収集を積極的に行い、学生1人ひとりが自分の適性を生かした選択ができるよう、丁寧な指導、相談を行うことで、学生の就職活動をバックアップしています。

3. ポリテクカレッジ神戸港の訓練内容

(1) 港湾流通科

港湾流通科では、貿易、港運、荷役、通関などの港湾における流通業務について学び、情報処理や通信システムに精通し、港湾流通システムを管理・運営できる実践技術者を育成します。そのため、〈1〉貿易・通関書類の流れに代表される「貿易実務」、〈2〉海上通関情報処理システム（Sea-NACCS）に代表される「港湾情報」、〈3〉コンテナ船専用の港であるコンテナ・ヤードの管理に代表される「港湾管理」の分野を学び、港湾における貨物の流れをコントロールするための多様な技術・知識を身につけます。

主なカリキュラムとして、貿易概論・データ工学・港湾総論などの学科のほか、通関実務実習・データ処理実習・ストウエージプラン（積卸し計画）作成



港湾流通科授業風景

実習などの実技科目があります。

また、在学中に「フォークリフト運転技能講習」や「玉掛け技能講習」の資格を取得することが可能であり、また、「通関士」や「貿易実務検定」といった資格試験合格を目指した授業も行っています。

(2) 港湾技術科（物流技術科の愛称）

港湾技術科では、輸送、保管、荷役、包装などの物流要素について学び、メカトロニクスと情報技術に精通し、物流システムを構築、サポートおよびメンテナンスできる実践技術者を育成します。そのため、〈1〉物流管理（荷役、作業管理、労務管理などの港湾業務に関すること）、〈2〉港湾技術（港湾荷役機械の知識および運転技術・技能に関すること）、〈3〉自動化（港湾荷役の自動化技術に関すること）の分野を実習等で学び、総合的な機能を身につけます。

主なカリキュラムとして、物流概論・荷役論・制御工学などの学科のほか、物流機械運転実習・情報通信実習・物流管理実習などの実技科目があります。

在学中に「フォークリフト運転技能講習」や「玉掛け技能講習」の資格だけでなく、「移動式クレーン運転実技教習」の資格を取得することが可能であり、また、「クレーン運転士」や「大型特殊自動車運転」などの免許取得に向けた実習を行っています。



港湾技術科授業風景

4. 入学者の状況および卒業後の進路

年度により多少のバラツキはありますが、本校への入学者を出身地で見ると、兵庫県内からの入学者が約8割を占めますが、中国・四国・九州地方からの入学者もおります。また、卒業後の進路についても、7割以上が兵庫県内の企業に就職しております。これは地域に根差した短大校としての役割が定着しているものととらえております。

入学者の確保につきましては、少子化の影響で新規卒者が減少傾向にあるなか苦勞しておりますが、教職員による高校訪問や高校の先生を対象とした短大説明会、港湾・物流業界に関心のある方および本校に入学を希望されている方を対象としたオープンキャンパス等で、本校のPRならびに募集活動を行っております。

就職に当たっては、学生それぞれの適性と希望にあった企業を選択できるよう、個人面談を通して学生1人ひとりの個性・能力・希望などを考え、面接練習を含めた就職指導を行っております。

卒業後の就職率は例年ほぼ100%で、そのうち約9割が港湾・物流関連企業に就職しております。本校では、港湾・物流業界の未来を担う人材を輩出しており、高い就職率と定着率により各企業・団体様から信頼をいただいております。



オープンキャンパス風景

5. 地域における活動

本校では、在職者訓練、事業内援助、施設・設備の開放などの業務も行っておりますが、その他の地域における活動として次のものがあります。

(1) 神戸港フォークリフト荷役技能向上大会

「安全・確実・迅速」という、フォークリフトの基本操作を競い合うことで、フォークリフト荷役技能のより一層のレベルアップを目指し、港湾労働災害の防止に寄与するとともに、神戸港の優秀な荷役を広くPRするため、関係官庁や港湾関連団体等の神戸港関係各界をあげて組織する「神戸港フォークリフト荷役技能向上大会実行委員会」による「神戸港フォークリフト荷役技能向上大会」に、神戸港の港湾企業から選出された人たちとともに、本校からも参加し、方向変換・屈折コース、ジグザグコース

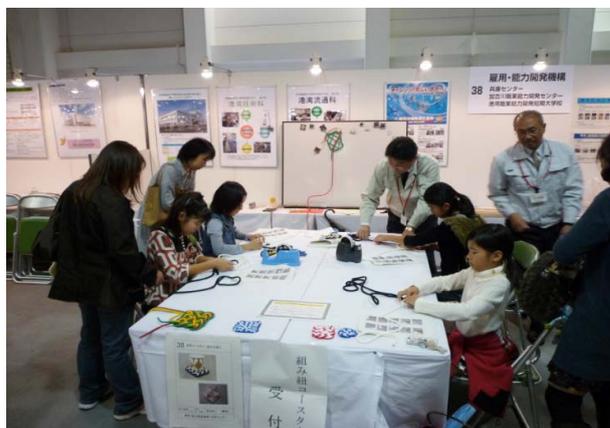


神戸港フォークリフト荷役技能向上大会

の2種目でフォークリフト荷役技能を競い合っております。

(2) 兵庫県技能グランプリ&フェスタ

技能者の技能向上を促進するとともに、次世代を担う子どもたちや市民を対象として、ものづくりの大切さや楽しさを伝え、技能労働に対する社会の理解を深めることで、技能尊重気運の醸成と後継者発掘・育成を目的とした「兵庫県技能グランプリ&フェスタ」に参加し、親子ものづくり体験教室を開催しております。



兵庫県技能グランプリ&フェスタ

6. おわりに

本校は、今後も、地域に開かれた教育機関として、港湾・物流業界での国際化・情報化・高度化に対応すべき「実践技術者」の育成に努めるとともに、業界の発展に寄与できる人材を輩出し、地域の産業振興に貢献していきたいと考えております。